

外部委員の評価結果

施策目標	(8) 教育環境の充実	総括担当課	学校教育課
方針	地域拠点として安全・安心を確保するとともに、児童生徒や教職員の一人ひとりの学びを保障する取り組みの研究・実施や連携体制の強化により、地域ぐるみで子どもの教育に取り組むまちを目指します。		

■ 評価結果

以下の①～③の項目について評価を実施しました。（当日出席委員：13名）

評価項目	評価結果		評価の理由等
①施策を構成する事業内容の妥当性	a評価	12名	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の背景や状況に応じて、多岐にわたるハード、ソフト両面での支援に取り組んでいる。 ・本施策目標は児童生徒、教職員、さらには地域にとっても欠かすことのできない課題である。 ・学校教育をとりまく環境は、複雑の度合いを増しつつあり、全てに100点満点の対応をすることはできないと思うが、今現在あると考えられる課題に対応しようとしていると考える。 ・それぞれの事業に丁寧に取り組まれていると思う。 ・四万十町の教育環境は、他の市町村よりもかなり充実している。これは、事業内容が現状の改善にマッチしていると思われる。特に、町内にある2校の県立高校への支援は充実している。 ・事業に改善を加えて実施しており、定着している事業が多い。どの事業も必要であり、妥当性が高い。 ・学校給食センターや入学祝い金事業等、地元高校を存続させる為の有意義な事業で良い。 ・いずれの事業も公的に推進されるべき内容であり評価できる。 ・行政が担う施策としての妥当性はあると考えるため。
	b評価	1名	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の教育環境には様々な課題があり、学力だけではなく、保護者も含めて取り組む必要があると思う。事業内容については概ね適切だと考えます。
	c評価	0名	—

②施策を構成する事業 全体の実績及び成果	a評価	7名	<ul style="list-style-type: none"> ・人材不足などにより計画どおりの実績となっていない事業も一部見受けられるが、地元高校入学者数や入学率が順調に推移するなど、具体的な成果として現れている事業も多々ある。 ・事業者の多様さや問題の複雑さを加味すれば、十分な効果がでている。 ・事務手続きでクリアできる部分の実績は100%に到達している。進捗レベルが低い事業についても改善に向けたアクションが用意されていると考えます。 ・教育振興に力を注いでおり評価できる。 ・コロナ禍の影響を加味すれば評価できる。
	b評価	6名	<ul style="list-style-type: none"> ・人材の確保に課題があり、成果につながらないのは少し残念である。会計年度任用職員の確保を進めるためには、待遇改善（給与面）が必要だと思う。 ・全小中学校で授業改善の取組が実施され、学力面や生活面における児童・生徒の成長に成果があがっている。また、町内高校の魅力化にも成果がみられる。 ・事業によってはすぐに成果が出るものと時間がかかるものがあると思う。
	c評価	0名	—
③施策目標の指標の達成度	a評価	5名	<ul style="list-style-type: none"> ・半数の事業の進捗レベルがA評価であり、D・E評価は3事業のみである。 ・施策目標に対する指標の達成率が高い結果となっている。ICT教育機器の導入についても計画どおり実施できている。 ・教育環境の充実という点で達成度が高いと思われる。
	b評価	8名	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的なKPIの達成度、進捗レベルから開きはあると思われるが概ね評価できる。 ・施策評価シートの総括評価Bは妥当であると考ええる。 ・達成度にばらつきがあるものの、まずまず評価できる。 ・教育環境の充実については、さまざまな関係機関と連携して進めていく必要があると思う。時代に合わせて事業を進めてほしい。 ・学校存続に対する抜本的な施策への対応があまりないと思われる。
	c評価	0名	—

※a評価・・・評価できる b評価・・・おおむね評価できる c評価・・・評価できない

総合評価	A評価	1名
	B評価	11名
	C評価	1名
	D評価	0名
	E評価	0名

(総合評価について)

上記の3項目の評価内容に応じて、以下のとおり機械的に総合評価を判定しました。

A評価・・・全てa B評価・・・aab、aac C評価・・・全てb、bba、abc D評価・・・bbc、cca

E評価・・・全てc

その他自由意見

- ・時代の変化に応じた学習環境の充実と体制の確保に努めている。専門人材の確保等苦心されている一方で、関係者を幅広く巻き込み、課題を正面から捉えようとしており、概ね評価できる。
- ・奨学金返済支援事業の活用においては、今後の状況も踏まえ、一層の活性化に繋がる制度の再考をお願いしたい。
- ・教育環境の充実の施策は四万十町を担う子供たちに必要不可欠な項目で、状況調査やアンケート等、色々な手段にて行われていると思うが、事業内容や目的等、利用者や現場のニーズに的確にマッチするようお願いしたい。
- ・今後子ども達の身体（体力、運動能力など）の部分の育成の重要度が増していくと思っています。今後も学校と連携をとって、心身ともに健やかな子ども達を育成していただくようお願いしたい。
- ・近年学校教育に対する施策が充実してきていると感じる。児童・生徒・学校への支援体制の更なる充実に向けた取組を継続実施してほしい。学校の働き方改革につながる支援を実施する必要がある。
- ・地元高校への入学祝い金10万円は子育て支援にもなり、これからも継続すればよいと思う。
- ・コロナの影響により実施が難しかった事業については、オンラインの活用など検討されてはどうか。（外国語活動推進事業、校内研究支援事業など）
- ・とても多くの事業があり驚きました。
- ・郷土愛の重要性も理解できるが、根本である町外高校への進学となっている要因を把握し、地元高校への進学割合を増加させていく施策が必要と思われる。（町内高校入学祝い金について）
- ・デジタル化など新たな取組がはじまり、教育環境も新たな資源や能力の獲得が急務となっているように感じます。教職員の能力向上や地域との連携などに力が注げるよう、業務環境が充実することを期待します。